

持続可能な地域づくりシンポジウム

～世界が憧れる札幌を目指して～

2017年6月16日(金) 13:30～17:00 [開場 13:00]

【会場】北海道大学 鈴木章記念ホール

北海道大学工学部応用科学研究棟(札幌市北区北13条西8丁目)

入場無料

(事前申込が必要です)

定員
200名

2015年9月、ニューヨーク国連本部において「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える加盟国首脳の参加のもと、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

このアジェンダでは、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、産業や健康・福祉、気候変動等の17分野に渡る目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs, Sustainable Development Goals)」が掲げられ、「誰一人取り残さない - No one will be left behind」という理念のもと、途上国だけではなく先進国や各自治体、企業、NGOなどを含めた全ての主体に関わり、達成を目指すものとされています。

札幌市においても、2018年から2030年を計画期間とする「第2次札幌市環境基本計画」の策定を進めており、この計画において環境側面からのSDGsへの貢献を位置付け、様々な主体とともにその取組を広げていこうとしています。

本シンポジウムでは、SDGsの目標年となっている2030年を見据え、地域や経済、社会における様々な課題とそれに立ち向かうための取組事例を共有し、**将来にわたって持続可能に発展していく地域づくりへの企業や自治体、市民団体等の関わり方と、その関わりを企業価値や地域の魅力の向上に結びつけていくためのアプローチ**について考えます。

企業経営者の皆様、地域課題の解決に取り組む皆様のご参加をお待ちしています。

■パネルディスカッション登壇者[主催からの登壇者は裏面]



蟹江 憲史氏

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授
国連大学サステナビリティ高等研究所シニアリサーチフェロー
専門は国際関係論、地球システムガバナンス。2013年度から2015年度に環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクトS-11(持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究プロジェクト)プロジェクトリーダーを務めた。日本政府「持続可能な開発目標(SDGs)推進円卓会議」構成員。



田瀬 和夫氏

テロイトトーマツコンサルティング合同会社 CSR・SDGs推進室長・執行役員
東京大学工学部卒。外務省にて国際政策課、人権難民課、国連日本政府代表部一等書記官等を歴任。「人間の安全保障委員会」事務局、国連事務局・人道調整部・人間の安全保障ユニット、パキスタン国連広報センター長を務め、2014年より現職。大阪大学大学院国際公共政策研究科・招聘教授や筑波大学大学院・非常勤講師も務める。



関 正雄氏

損保ジャパン日本興亜 CSR室シニアアドバイザー
東京大学法学部卒、安田火災海上(現損保ジャパン日本興亜)にてシステム企画部、社長室、営業開発第一部などを経験し、2001年からCSR推進に関わる。2005年から日本産業界代表エキスパートとしてISO26000策定作業部会に参加。2013年より現職、及び明治大学経営学部特任准教授。環境省・経済産業省等の各種会議の委員も務める。



塚見 孝成氏

北洋銀行地域産業支援部 常務執行役員 審議役
同志社大学経済学部卒。1979年に株式会社北海道拓殖銀行入行。1998年に株式会社北洋銀行へ入行し、業務推進部長、地域産業支援部長、執行役員地域産業支援部長、常務執行役員地域産業支援部長を経て、現職。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



- ◆主催：札幌市、環境省、北海道大学、環境省北海道環境パートナーシップオフィス(EPO 北海道)
- ◆協力：RCE北海道 - 道央圏、株式会社 TREE、一般社団法人 北海道中小企業家同友会札幌支部
- ◆後援：北海道新聞社、国連広報センター、国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所

持続可能な地域づくりシンポジウム ～世界が憧れる札幌を目指して～

■プログラム

- 13:00 受付開始
13:30 開会・主催者挨拶
13:35 ◆セッション1 (基調講演)
「SDGsの意義と地域・企業等による活用の可能性」
蟹江 憲史 氏 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授)
- 14:15 休憩 (5分)
14:20 ◆セッション2 (取組事例紹介)
「企業とSDGs ～損保ジャパン日本興亜の取り組み例～」
関 正雄 氏 (損保ジャパン日本興亜 CSR 室シニア アドバイザー)
「女性が働きやすい企業作りへの取組」
粟野 妃奈子 氏 (北洋銀行 人事部 女性活躍支援室長)
「北海道八雲町への提案」
田瀬 和夫 氏 (デロイトトーマツコンサルティング合同会社 CSR・SDGs 推進室長・執行役員)
「持続可能な環境都市『環境首都・札幌』の実現に向けた取組」
三井 一敏 (札幌市 環境局長)
- 15:40 休憩 (10分)
15:50 ◆セッション3 (パネルディスカッション)
「企業・大学・自治体としてSDGsをどのように捉え、将来に向けて取り組むべきか」
【コーディネーター】
・蟹江 憲史 氏 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授)
【パネリスト】
・関 正雄 氏 (損保ジャパン日本興亜 CSR 室シニア アドバイザー)
・塚見 孝成 氏 (北洋銀行 地域産業支援部 常務執行役員 審議役)
・田瀬 和夫 氏 (デロイトトーマツコンサルティング合同会社 CSR・SDGs 推進室長・執行役員)
・名和 豊春 (北海道大学 総長)
・永見 靖 (環境省 総合環境政策局 民間活動支援室長 / 環境教育推進室長)
・秋元 克広 (札幌市 市長)
- 17:00 閉会・挨拶

※プログラムは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

■申し込み方法

下記ホームページ (QRコードからもアクセス可能) からの申し込み、または以下の必要事項をご記入の上、EメールまたはFAXにてお申込みください。

ホームページ: <http://epohok.jp/event/6822>
Eメール: epoh-webadmin@epohok.jp
FAX: 011-596-0931 (EPO北海道宛)



参加申込書 ※当日は受付にてお名前を確認させていただきます。

ふりがな	
氏名	法人名
所属・役職	
ふりがな	
氏名	法人名
所属・役職	
ふりがな	
氏名	法人名
所属・役職	
電話番号	FAX 番号
メールアドレス	

※受講料はございませんので、当日、直接会場にご来場ください。※お申込みは先着順となります。定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。(締め切り後にお申込みいただいた場合には、こちらからご連絡いたします。)
※取得した個人情報は、本シンポジウムの目的・運営・実施のためのために使用し、厳正に管理します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

主催者からのパネルディスカッション登壇者



北海道大学 総長
名和 豊春

北海道大学大学院工学研究科修士後、秩父セメント株式会社(現太平洋セメント株式会社)中央研究所を経て、北海道大学大学院工学研究科教授、工学研究院長・工学院院长等を歴任し、2017年4月より現職。



環境省 総合環境政策局
民間活動支援室長 / 環境教育推進室長
永見 靖

上智大学法学部卒業後、環境庁(現環境省)へ入庁、ドイツ留学、資源エネルギー庁への出向、リサイクル推進室室長補佐、地球温暖化対策課課長補佐等を経て、2016年より現職。

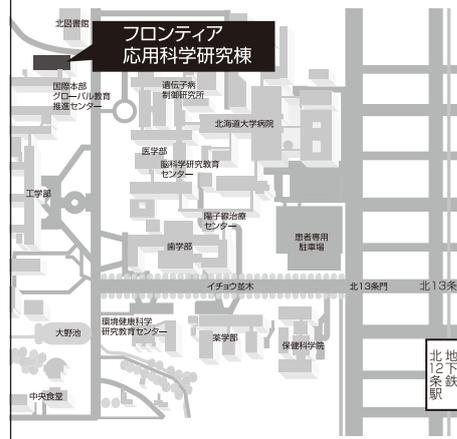


札幌市 市長
秋元 克広

北海道大学法学部卒、札幌市役所にて企画調整局情報化推進部長、南区長、市長政策室長を歴任し、2012年に札幌市副市長に就任。2015年の札幌市長選で初当選し、同年5月より現職。

<会場案内図> 所在地/札幌市北区北13条西8丁目

地下鉄南北線「北12条駅」または「北18条駅」から徒歩15分。公共交通機関での来場をお願いいたします。



【お問い合わせ】

札幌市環境局環境都市推進部環境計画課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL 011-211-2877 FAX 011-218-5108
MAIL kan.suishin@city.sapporo.jp

環境省北海道環境パートナーシップオフィス (EPO北海道)
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目大五ビル7階
TEL 011-596-0921 FAX 011-596-0931
MAIL epoh-webadmin@epohok.jp